

学校だより



くるだ

令和4年4月28日 第2号

富士宮市立黒田小学校

富士宮市星山 1030-2

電話 0544-26-2670



運動場の北側フェンスに設置した
のぼり旗

※「源頼朝巻狩の地 富士宮」
PR ロゴマーク入りです。

学校教育目標

重点目標

えがお
いい笑顔

やさしくする

かがや ひどみ
輝く瞳

伝える

ひか あせ
光る汗

振り返る

心根のやさしい子供たち

— 命を奪ってごめんね —

校長 米津 英郎

新年度がスタートしてから三週間が過ぎました。たった三週間ですが、子供たちのやさしい心に触れる場面がたくさんありました。

先生方や友達に挨拶をしている子供、横断歩道で止まってくれた車にお辞儀をしている子供、運動場で友達に遊具を譲ってあげている子供、生き物に餌をあげている子供、転んだ友達にやさしく声を掛けている子供、下級生の手をつないで登校してくる上級生等です。

このような子供たちの姿を眺めながら、黒田小学校に赴任できたことを私は、心からうれしく思っています。

今回のお便りでは、私が、美化委員として活動しているAさんのやさしい心に触れた場面を紹介します。それは、天気の良い4月8日(金)の昼休みの出来事でした。

運動場で多くの子供たちが遊んでいる中、美化委員会の子供たちは花壇で草花の手入れをしていました。黙々と活動している姿を見て「えらいな。」と感じた私は、美化委員のAさんに声を掛けてみることにしました。その時に交わしたAさんとの会話の一部を紹介します。



校長 「委員会活動ですね。今は何をしていますのですか。」

Aさん 「草取りをしています。」

校長 「花壇の手入れは大変ですね。大丈夫ですか。」

Aさん 「大丈夫です。僕は、草を抜くときに、『命を奪ってごめんね。』と心の中でつぶやいてから抜くようにしているから。草には悪いなって思っているんですけど……。」

皆様は、Aさんの発言をどのように受け止めたのでしょうか。私は、Aさんのやさしい心に驚くと共に、とてもうれしくなり、黒田小学校がますます好きになりました。

今後も感染症対策を徹底し、子供たちのやさしい心を大切にして、様々な教育活動に取り組んでいきます。ご理解とご協力をお願いします。

